

## ②③ コウラウラの<sup>まつ</sup>祭りが<sup>も</sup>盛り<sup>あ</sup>上がる<sup>やくじんじゃ</sup>薬神社



やくじんじゃ 薬神社では、<sup>まいとし</sup>毎年<sup>がついつか</sup>5月5日に、<sup>むびょうそくさい</sup>無病息災<sup>いの</sup>を祈る「コ

ウラウラの<sup>まつ</sup>祭り」が<sup>おこな</sup>行われま

す。祭りは、<sup>まつ</sup>江戸<sup>えど</sup>末期<sup>まつき</sup>の<sup>あんせい</sup>安政<sup>ねん</sup>2年

(<sup>うなみちく</sup>1855)に、<sup>うなみちく</sup>宇波地区で

<sup>えきびょう</sup>疫病(コレラ)が<sup>りゅうこう</sup>流行した<sup>さい</sup>際

に、<sup>かみさま</sup>神様を<sup>まつ</sup>祭って<sup>しず</sup>鎮めたのが<sup>はじ</sup>始

まりです。「コウラウラ」という

のは、<sup>むかし</sup>昔の<sup>ちめい</sup>地名、<sup>ひみ</sup>氷見

<sup>ぐんうなみむらこうらうら</sup>郡宇波村高良浦に<sup>ゆらい</sup>由来

しています。



「コウラウラの祭り」では、  
「アゲモン」と呼ばれるみこ  
しをかついで歌を歌いなが  
ら、宇波神社から薬神社まで  
練り歩きます。このとき、道ば  
たに五色の旗を立てます。こ  
の旗は病気が治ったお礼に  
奉納したものを、祭りのとき  
に立てたのが始まりです。そ  
の後、厄歳の若者が旗を奉納  
してきました。

薬神社に見学に行ったとき、アゲモンを見せても  
らいました。とても豪華で華やかでした。5月5日に、  
ぜひ薬神社に見に行ってみてください。

